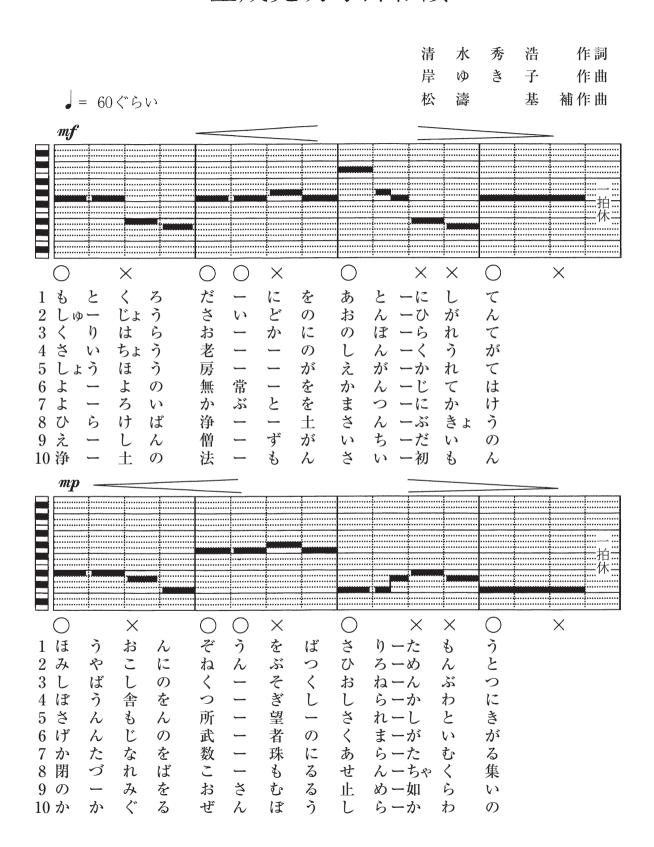
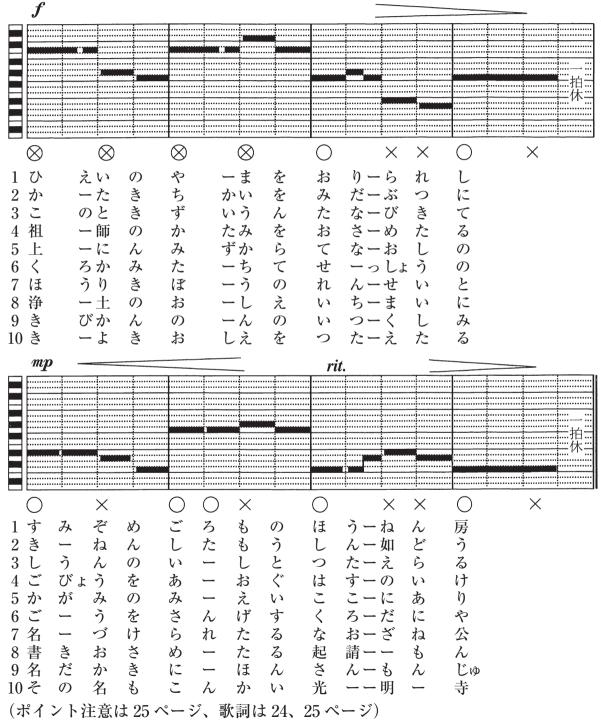
金戒光明寺御和讃





こんかいこうみょうじ金戒光明寺和讃

清 水 秀 浩 作詞

- 3 栗原岡に 登られて しばしの休息 お念仏 この時瑞雲 たなびきて 紫雲の石と 伝えらる
- 5 勝法房が 描かれて 賛文所望 されしとき 上人自ら 手直しの 鏡の御影 ここに在り

- 6 世々の無常を 感じては 源氏の武者の 熊谷が 黒髪断ちて 殺生の 業を懺悔す 黒谷や
- 7 **鎧かぶとを** 松に掛け 刀を数珠に 敬むる 法力房の 蓮生と 名付けられたる 直実公
- 8 開けば浄土 三部経 閉づれば籠る 選択集 浄土の教え 一枚に 書き納めたる 起請文
- 9 恵心僧都が 一代の 鑿を収むる 止め如来 *** でかんのん さんもん じゅ 吉備観音の 慈しみ 名高き日本 三文殊

ポイント注意

- ●子守唄風に しんみりと
- ●各節9小節目からの「転句部」は、1拍目・3拍目の強声部を大切に盛り上がります。

(図表は22ページ)